

## 再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

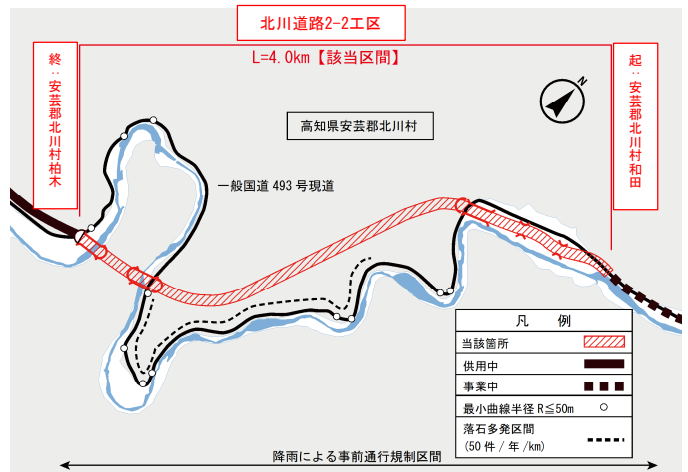
担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：高松 諭

事業名	地域高規格道路 阿南安芸自動車道 一般国道493号 北川道路2-2工区	事業区分	一般国道	事業主体	高知県																									
起終点	自：高知県安芸郡北川村和田 至：高知県安芸郡北川村柏木			延長	4.0km																									
事業概要																														
<p>四国8の字ネットワークを構成する阿南安芸自動車道は、徳島県阿南市と高知県安芸市を結ぶ延長110kmの地域高規格道路である。</p> <p>事業区間の「北川道路2-2工区」は、北川村和田から柏木までの延長4.0km区間を整備するもので、南海トラフ地震の発災時には救援活動ルート役割を担うとともに、広域的な交流や物流を支え、沿線住民の日常生活を支援することを目的としている。</p>																														
H25年度事業化		都市計画決定なし		H25年度用地着手																										
				H27年度工事着手																										
全体事業費	約179億円	事業進捗率	約76%	供用済延長	— km																									
計画交通量	3,700 台/日																													
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体) 1.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">5.2</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.9	(残事業)	5.2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">35/101億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業費：34/99億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持管理費：1.4/1.4億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">更新費：0/0億円</td> <td></td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	35/101億円		事業費：34/99億円		維持管理費：1.4/1.4億円		更新費：0/0億円		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">186/186億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">走行時間短縮便益：169/169億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">走行経費減少便益：15/15億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">交通事故減少便益：1.1/1.1億円</td> <td></td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	186/186億円		走行時間短縮便益：169/169億円		走行経費減少便益：15/15億円		交通事故減少便益：1.1/1.1億円		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">基準年</td> <td style="text-align: center;">令和5年</td> </tr> </table>	基準年	令和5年
B/C	(事業全体) 1.9																													
(残事業)	5.2																													
総費用	(残事業)/(事業全体)																													
35/101億円																														
事業費：34/99億円																														
維持管理費：1.4/1.4億円																														
更新費：0/0億円																														
総便益	(残事業)/(事業全体)																													
186/186億円																														
走行時間短縮便益：169/169億円																														
走行経費減少便益：15/15億円																														
交通事故減少便益：1.1/1.1億円																														
基準年	令和5年																													
感度分析の結果																														
<table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=1.7~2.0 (交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=4.7~5.8 (交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.6~2.2 (事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=4.5~6.3 (事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.7~2.0 (事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=4.8~5.7 (事業期間±20%)</td> </tr> </table>						(事業全体) 交通量：B/C=1.7~2.0 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=4.7~5.8 (交通量±10%)	事業費：B/C=1.6~2.2 (事業費±10%)	事業費：B/C=4.5~6.3 (事業費±10%)	事業期間：B/C=1.7~2.0 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=4.8~5.7 (事業期間±20%)																			
(事業全体) 交通量：B/C=1.7~2.0 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=4.7~5.8 (交通量±10%)																													
事業費：B/C=1.6~2.2 (事業費±10%)	事業費：B/C=4.5~6.3 (事業費±10%)																													
事業期間：B/C=1.7~2.0 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=4.8~5.7 (事業期間±20%)																													
事業の効果等																														
<p>①南海トラフ地震への備え 四国8の字ネットワークの一部として、地震・津波等の大規模災害に強い道路ネットワークが形成されることで災害時の救急活動や緊急物資の円滑な輸送に寄与する。</p> <p>②頻繁に発生する通行規制への対応 災害を起因とした通行規制による大幅な迂回が解消されることや、事前通行規制区間の解消による道路の信頼性が向上する。</p> <p>③日常生活にも支障を及ぼす未改良区間への対応 すれ違い困難箇所が解消されることで交通事故が減少する。併せて、走行性の向上により時間短縮効果が発現される。</p>																														
関係する地方公共団体等の意見																														
四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟、高知東部自動車道整備促進期成同盟会、一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会、国道493号整備促進期成同盟会より積極的な要望活動が続けられている。																														
事業評価監視委員会の意見																														
事業継続を妥当と認める。																														
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等																														
周辺環境等に特に変化はない。																														
事業の進捗状況、残事業の内容等																														
用地取得率約96%、事業進捗率約76%																														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等																														
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完成を目指してトンネル・橋梁工事を推進する。																														
施設の構造や工法の変更等																														
橋梁形式の見直しや新技術等の導入により工事コストの縮減を図る。																														
対応方針	事業継続																													

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変わらず、費用対効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。